

ミクロネシアの食生活—伝統と近代のはざま—

山本宗立 氏

(鹿児島大学国際島嶼教育研究センター)

日時

2023年12月22日(金) 17:00～18:30

開催方法

対面(京都大学本部キャンパス
総合研究2号館4階 AA447会議室)
とZOOMのハイブリッド開催です。

下記サイトより事前にお申し込みください。

<https://forms.gle/nhpaATYZEHSZEHZD7> (当日12:00締め切り)



要旨

ミクロネシア連邦では、1950年代までいわゆる「伝統的」な食生活(パンノキや芋類、バナナ、海産物など)が営まれていたが、1960年代にアメリカ合衆国農務省が補助給食プログラムを開始して以降、「近代的」な食事(米や小麦粉、砂糖、脂肪分に富む食品、輸入加工食品など)に置き換わっていったとされる。食事の近代化にともない、糖尿病や高血圧、心臓疾患などの重大な健康問題を抱えることになった。そのため、輸入食品と比べてカロ

テン類やビタミン類をより多く有する地元食材の利用、そして多様な野菜類の導入が奨励されてきた。しかし、食事が「近代化」したとはいうものの、それを裏付ける詳細なデータはこれまでに発表されていなかった。本発表では、ミクロネシア連邦チューク州ピス島およびポンペイ州ピンゲラップ島において実施した長期間にわたる食事調査結果を報告する。

